マットテクスチャキーパー

マットテクスチャキーパー
作業マニュアル

KeePer技研株式会社

プレミアムEX for マットペイントで使用するツール

STEP.2 汚れ落とし工程で使用

●爆ツヤ
●爆ツヤ専用小分けボトル
●スポンジ 青



●ラ・モップⅡ



●快洗Taoる



●キーパークロス



STEP.3 ガラスコーティング
STEP.4 レジンコーティングで使用

●マットテクスチャキーパー1台施工キット

●マットテクスチャ ガラス
●マットテクスチャ スポンジ
●ダイヤクロス
●マットテクスチャ レジン
●レジン用スポンジ
●レジンクロス



●馬毛ブラシ



●蓄圧式水スプレー



作業の流れ

STEP.1	洗車	P2
STEP.2	汚れ落とし工程	P2〜P3
STEP.3	ガラスコーティング	P4〜P7
STEP.4	レジンコーティング / 仕上げ	P8〜P12

⚠ 注意：マット塗装は部分的に強くこすると、凹凸が平らになり艶が出てしまう恐れがあるため
マニュアルに沿って、手のひらで均一に優しく作業してください。

STEP. 1 洗車

❶ 手洗い又は、洗車機で水洗いをします



STEP.2 汚れ落とし工程

洗車後、ボディが濡れた状態で作業を行う

❶「爆ツヤ」を「スポンジ 青」に適量取る

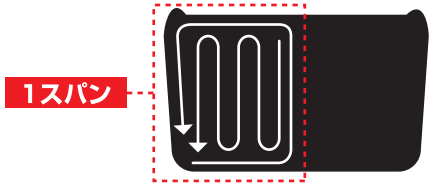
＊太線1本





❷ ボンネット半分位の面積に
一定方向に隙間なく
フチまで塗り広げる

＊塗り広げる時の
スポンジの動き



＊塗り広げる時の
スポンジの押さえ方
支えるように軽く押さえる。





❸ 3スパンまで❶❷の作業を繰り返す

⚠ 注意：
● 「爆ツヤ」または、「爆白ONE」を
ボンネットなどの隙間に入れないよう注意してください。
面の場合は中から塗り広げ、最後に枠を囲めば隙間に入りにくくなります。



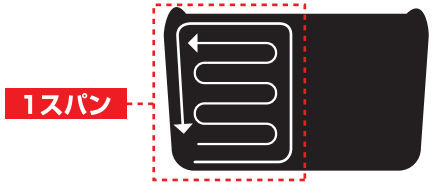




STEP.2　汚れ落とし工程

❹ 1スパン目に戻って、塗り広げた塗装面を軽くこする(汚れを動かす)

＊軽くこする時の
スポンジの動き



＊軽くこする時の
スポンジの押さえ方
手のひら全体でスポンジが
半分へこむ位の力で押さえる





❺ ボディ全体に❶〜❹の作業を行う



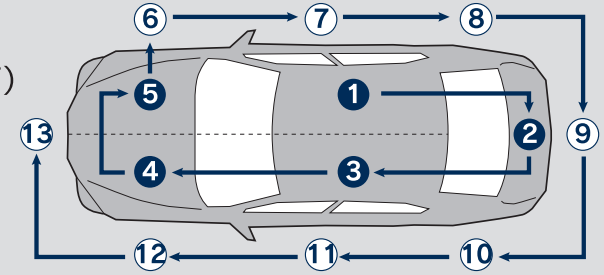


参考
- よりきれいにするために、ドアノブのツメによるキズの汚れやエンブレムなど細かな所は特にしっかりと汚れを落とします。

注意：
- 作業中ボディが乾きそうな時には、水をかけて乾かないようにすると作業が早くすみます。(乾いても塗装に害はありません)
- ガラス面に撥水加工されているお車の場合、撥水効果が落ちることがあります。液ダレしないように注意してください。

作業の流れ

(●上面、○側面)



❻「爆ツヤ」をしっかり洗い流す

参考
- 隙間や細かい部分を特にしっかりと洗い流します。

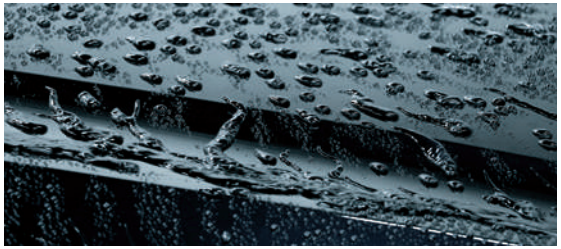


STEP. 3 ガラスコーティング

塗装面が濡れた状態で作業を行ってください。

炎天下を避け、日陰でボディを冷まして作業をしてください。

⚠ 注意：
- 天下やボディが熱い状態で施工すると急激な反応により、
  塗りムラや拭きづらくなるといった現象が出る場合があります。
  ボディが熱い場合は、予め水をかけるなどして、よく冷ましてから施工してください。



---

❶ フロントガラスの上部にタオルを当てておく

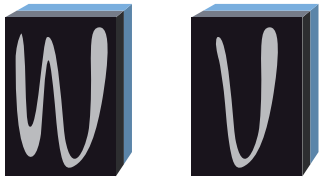
参考
- ケミカルを含んだ水がフロントガラスに垂れないようにタオルを当てておく。
  もし「マットテクスチャ ガラス」がガラス面についてもクロスで拭けば取れます。



---

❷ 水に湿らせた「マットテクスチャ スポンジ」に「マットテクスチャ ガラス」をスプレー

＊最初は2往復（Wの字）　＊以降は1往復（Vの字）





参考
- 飛散した「マットテクスチャ ガラス」が付着しないよう、
  車に背を向けて、スプレーノズルとスポンジを近づけてスプレーします。
- もしケミカルがガラス面についても「キーパークロス」で拭けば取れます。

STEP.3　ガラスコーティング

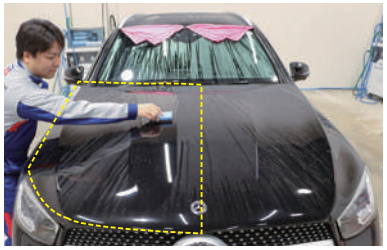
❸ ボンネット半分位 一定方向に「隙間」なく フチまでしっかり塗り広げる

＊スポンジの動き



＊スポンジの持ち方
スポンジを
軽く掴むように持つ

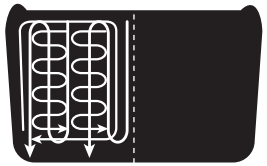




参考
- スポンジの動きが重く感じたら
  「マットテクスチャ ガラス」を足してください。
- 1スパンの面積をボンネット半分の面積よりも広くしないでください。（被膜として必要な厚みが確保できません）

❹ ❸で塗り広げた範囲を クロス方向にすり込み、 ガラス被膜を定着させる

＊スポンジの動き





❺ 1枚目の固く絞った「ダイヤクロス」で 拭く

＊クロスの動き



＊クロスの持ち方
クロスのカドを親指で
ロックするように挟む





参考
- ケミカルが硬化する前に拭き上げてください。

STEP.3　ガラスコーティング

❻ 2枚目の乾いた「ダイヤクロス」で仕上げる

参考
- 塗布した面積よりも、
  少し広く拭くことでキレイに仕上がります。

＊クロスの動き





---

❼ ボディ全体に❶～❻の作業を行う

注意：
- 常にボディが濡れた状態で作業をしてください。
  ボディが乾きそうなときは水スプレーを使ってボディを濡らしてください。
- ウィンドウガラスの水滴は乾く前に拭き取ります。

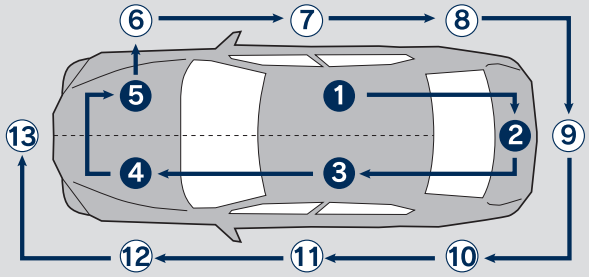
使用ツール
●蓄圧式水スプレー





作業の流れ

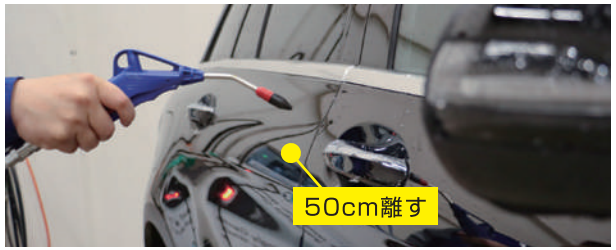
（●上面、○側面）





STEP.3　ガラスコーティング

❽ エアーガンでタオルで拭けない隙間の水を飛ばす



⚠ 注意

- 塗装にエアーガンを近づけ過ぎると、塗装を飛ばす恐れがあるため、50cm程離します。

参考

- ドアミラー、ドアノブ、ワイパー周り、バイザー内側、給油口、アンテナ、ホイール・タイヤ、フロントグリルは、特に念入りに行います。

❾ ボディ、窓、ステップ、ボンネットの裏の水を拭き取る

使用ツール
(左)キーパークロス
(右)快洗Taoる





⚠ 注意：

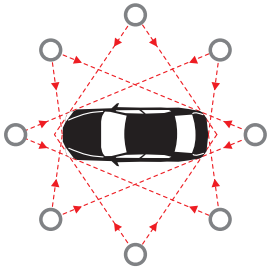
- ステップ、ボンネット裏は砂やホコリ等が付着するので、別のタオルを使用してください。
  ステップ等を拭いたタオルを窓ガラス、ボディで使用するとキズの原因になります。

参考

- ボディの水滴を「キーパークロス」、窓の水滴を「快洗Taoる」で拭き取ってください。

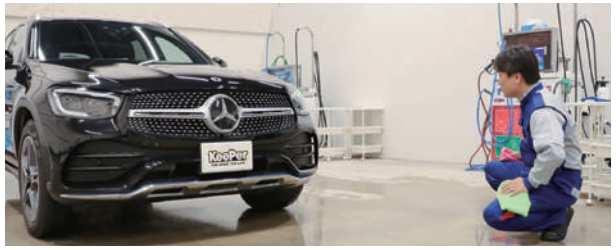
❿ 拭き残しなどを確認

施工を終えたら、いろいろな角度から
施工車を見て、拭き残しがないか確認します。



参考

- 1m位離れたところから角度を変えてチェックします。



STEP.4 レジンコーティング

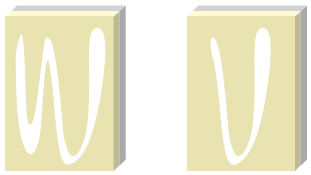
塗装面が乾いた状態で作業を行ってください。

❶「マットテクスチャ レジン」の缶を逆さにしてよく振る



❷ 乾いた「レジン用スポンジ」に「マットテクスチャ レジン」の缶を立ててスプレー

＊最初は2往復（Wの字）　＊以降は1往復（Vの字）

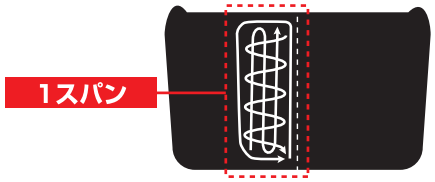




参考
- 飛散した「マットテクスチャ レジン」が付着しないよう、車に背を向けて、スプレーノズルと「レジン用スポンジ」を近づけてスプレーします。

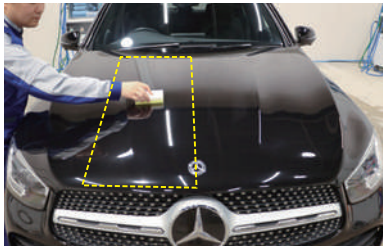
❸ ボンネット1/4位の面積にタテヨコに隙間なくフチまで塗り広げる

＊スポンジの動き



＊スポンジの持ち方
スポンジを軽く掴むように持つ



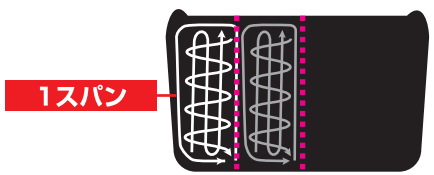


参考
- 「レジン用スポンジ」の動きが重く感じたら「マットテクスチャ レジン」を足してください。
- 1スパンの面積をボンネット1/4よりも広くしないでください。（被膜として必要な厚みが確保できません）

STEP.4　レジンコーティング

❹ となりのスパンに、❶〜❸の作業を繰り返す

＊スポンジの動き





参考
- となりのスパンと少し重なるようにして隙間なく塗り広げてください。

---

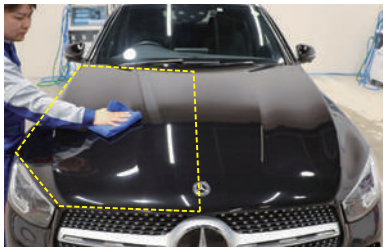
❺ 1枚目の乾いた「レジンクロス」でクロスの面を換えながら2回拭く

＊クロスの動き



＊クロスの持ち方
クロスのカドを親指でロックするように挟む



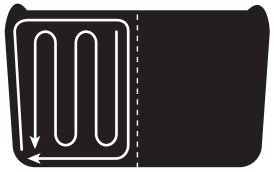


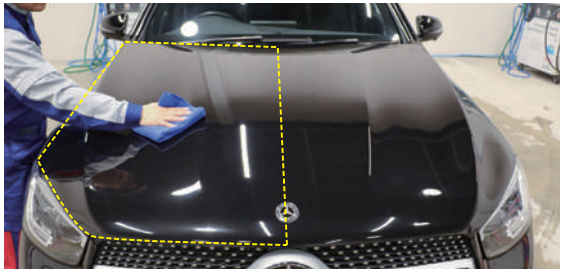
参考
- 「マットテクスチャ レジン」が乾く前に速やかに拭き上げてください。
- 拭き取りにくくなったら、「レジンクロス」を換えてください。
- 塗布した面積よりも、少し広く拭くことでキレイに仕上がります。

---

❻ 2枚目の乾いた「レジンクロス」でクロスの面を換えながら2回仕上げ拭き

＊クロスの動き





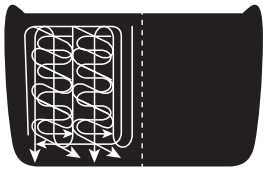
参考
- クロスは面を変えて拭き上げてください。
- 「レジンクロス」はどちらの面を使用しても仕上がりに差はありません。
- 拭き取りにくくなったら、「レジンクロス」を換えてください。

STEP.4　レジンコーティング

❼ 「馬毛ブラシ」で凸凹の凹に入り込んだコーティングをボンネット半分位の面積に優しくタテヨコナナメに掻き出す

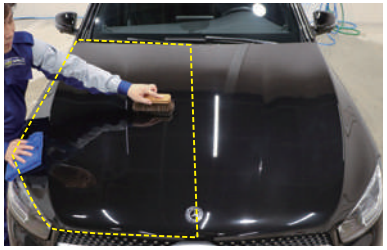
⚠ 注意
- 「馬毛ブラシ」以外のブラシは使用不可。
- 「馬毛ブラシ」は力をいれずに優しく掻き出す。

＊馬毛ブラシの動き



＊ブラシの持ち方





❽ キレイな「レジンクロス」で、ブラシについたコーティング剤を拭き取る



STEP.4　レジンコーティング

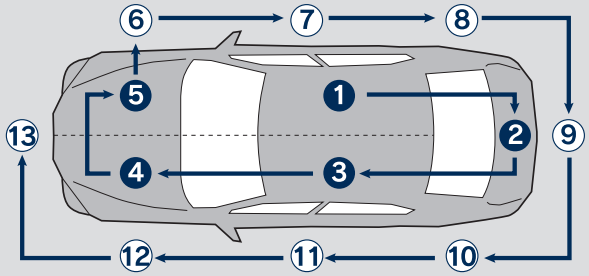
❾ ボディ全体に❶〜❽の作業を行う



⚠ 注意：
- エンブレムやドアノブなど、細かな部分に「マットテクスチャ レジン」が入り込まないように注意してください。
- もし「マットテクスチャ レジン」が隙間に入った場合は、エアーガンで吹き飛ばしてください。

作業の流れ

（●上面、○側面）





※作業の途中で拭き取りにくくなったら、「レジンクロス」を換えてください。

❿ 仕上げ拭き

参考
- ボディは「KeePerチェックライト」「チェックボード」を使用し、乾いた(または水で湿らして固く絞った)「レジンクロス」で仕上げ拭き。
- コーティングが飛散している場合があるため窓、レンズ類、樹脂パーツは、水で湿らして固く絞った「キーパークロス」で拭き上げます。

使用ツール
(左)KeePerチェックライト
(右)チェックボード





ライトで塗装面を照らして、ライトの映り込みを見ながら拭き残しをチェックするあ

STEP.4　レジンコーティング / 仕上げ

⑪ 最終確認

もう一度、全体がしっかりコーティングがされているか、
拭き残しがないか、いろいろな角度から確認します。

参考
- 1m位離れたところから角度を変えてチェックします。

